

第 1 1 回

石和町、御坂町、一宮町 八代町、境川村、春日居町 合併協議会会議録

平成 1 5 年 1 1 月 1 4 日 開会

平成 1 5 年 1 1 月 1 4 日 閉会

第 1 1 回

石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、春日居町合併協議会

平成 1 5 年 1 1 月 1 4 日

第11回 石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、春日居町合併協議会

平成15年11月14日
午後1時30分開議
石和町スコレーセンター

- 第1 開 会
- 第2 会長あいさつ
- 第3 議 事
 - (1) 報告事項
 - 報告第1号 住民小委員会の審議経過について
 - 報告第2号 住民意向調査について
 - 報告第3号 その他
 - (2) 協議事項
 - 協議第 1号 3 新市の名称について
 - 協議第 2号 4 2 国民健康保険の取り扱いについて
 - 協議第 3号 その他
- 第4 次回の協議会日程について
- 第5 そ の 他
- 第6 閉 会

開会 午後 1時30分

司会（中川啓次君）

委員の皆様方、本日はご苦労さまです。

私は、本日の司会進行役を務めさせていただきます、事務局長の中川と申します。

よろしくお願ひしたいと存じます。

始めに、開会ということで、相互にあいさつを交わしたいと思ひますので、恐れ入りますが、ご起立願ひます。

相互に礼。

ご着席ください。

ただいまから、第11回石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、春日居町合併協議会を開催いたします。

それでは、次第によりまして、会議を進めてまいります。

まず、会長あいさつを、協議会の会長であります荻野石和町長からいただきます。

それでは、会長さん、お願ひします。

会長（荻野正直君）

皆様、こんにちは。

外にあります山茶花の花も大変色づきが、今年はいよいよでございます。また、私も経験したことがないような、里の紅葉が大変きれいに見えます。特に柿の葉の紅葉は、長く柿を作っていたりしゃる方も、こんなにきれいなのは初めてだというような話も伺っております。

そして、今日は去年よりも2週間遅れて初霜があったということ、先ほどニュースで聞きました。

委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中をご出席いただきましてありがとうございます。

さて、本日開催いたします合併協議会も、今回で11回目ということになります。小委員会の皆様方には、20回以上の会議を重ねていただいております。

そういう中にありまして、過日、住民意向調査をさせていただきまして、その結果をマスコミを通じまして報告させていただいておりますが、6町村のすべてをトータルいたしますと、合併を支持するというので、皆様方からご意見をちょうだいいたしました。

当協議会の委員の皆様方を始め、それぞれのお立場の皆様方に大変なご苦労とご理解をいただきまして、住民の同意が得られたというふうに思っております。

ますます意を強くいたしまして、この合併に取り組んでいきたいと、また、皆さんも一緒に取り組んでいただきたいと、かように重ねてお願ひを申し上げます。

さて、本日の協議会でございますが、新市の名称の候補が決まりました。この候補の選定にあたりましては、過日、有識者も含めまして選考していただいたわけでありましてけれども、選考方法の中で、一部マスコミの中からも、選考方法の場も公表してくださいと、いうふうなご意見もちょうだいいたしましたけれども、私の判断でございますが、協議会の皆様、まずはじめにお知らせしてから、マスコミを通じまして発表したいと、かように思いました。ただ、その中でいくつかご議論いただいたわけでありましてけれども、こういった流れの中では、そういうこともすべて公開なさいたいというようなことも、一つの課題としてちょうだいしたことを、皆様にご報告申し上げたいと思ひます。

それにつきましても、新市にふさわしい名前を皆様方に今日、ご提示申し上げまして、できますれば、次の協議会で決定させていただければと、かように思っております。よろしくお願ひ申し上げ

げたいと思います。

朝夕めっきり寒くなってまいりました。委員の皆様方、お風邪など召されませんように、ますます健康にはご留意なされ、ご活躍いただきますことをご祈念申し上げまして、始めにあたりましてのあいさつにさせていただきます。

本日はご苦労さまでございます。

司会（中川啓次君）

ありがとうございました。

次に、次第の3番、議事であります。

協議会規約第9条によりまして、議長を荻野会長にお願いしたいと思います。

議長（荻野正直君）

それでは、ただいまから議事に入ります。

スムーズな進行に、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

始めに、まず、報告事項から入りたいと思います。

報告第1号 住民小委員会の審議経過についてであります。小委員会の鈴木委員長さんから報告をお願いいたします。

住民小委員会委員長（鈴木貞夫君）

報告第1号 住民小委員会の審議状況報告を行います。

住民小委員会を去る11月10日、石和町商工会2階会議室において開催いたしましたので、その審議状況等についてご報告いたします。

資料は、本日配布されました住民42の差し替えシートになります。

協定項目42 国民健康保険の取り扱いについて

本件は、保険税率の統一時期について継続審議となっております。保険税の負担については、新市において被保険者間に不均衡が生じないよう、保険税率の一元化を図る必要があるわけですが、現在6町村の保険税率には大きな開きがあり、合併時に税率を統一することにより、急激な保険税負担の増加が見込まれる町村もあります。

当小委員会では、数回にわたり協議を重ねてまいりましたが、保険税率を合併時に統一することは困難であると判断し、合併特例法による不均衡課税の規定を適用いたしまして、保険税率は合併後2年以内に、平成18年度を目標として統一を図ることといたしました。

これにより、単年度の大幅な負担増加は避けられるものと考えます。

今回の小委員会で審議が終了しておりますので、本日後ほどご協議をお願いしたいと存じます。

住民小委員会の受け持ち分野は、福祉、保健、環境など住民生活に直結した重要な分野でありまして、それだけに責任の重大さを委員全員が痛感しておりましたが、今回をもちまして、付託されました協定項目の審議は無事すべて終了することとなりました。

今後、6町村の合併が正式に決定することと思いますが、住民福祉、住民サービスの向上と住民負担の軽減に向けた取り組みを、一層推進していただくよう要望し、委員長報告とします。

以上。

議長（荻野正直君）

鈴木委員長さん、ありがとうございました。

報告が終わりました。

何か質問等ございませんでしょうか。

（ な し ）

なければ次に移ります。

次に、報告第2号 住民意向調査について、事務局から報告をお願いいたします。

事務局次長（宮島茂君）

それでは、事務局から住民意向調査の集計結果について報告いたします。

お手元の資料の1ページをお願いいたします。

6町村の住民意向調査の集計表でございますが、これにつきましては、各町村が実施主体となり、20歳以上の全住民を対象に行ったものであります。

表としまして、6町村の計、それから石和町から春日居町まで詳しくここに集計しております。

6町村の計であります。賛成であるが52.5%、反対であるが13.0%、どちらともいえないが32.7%、それに無回答または無効の1.8%を加えまして、全体で5万5,621配付したのですが、回答数が3万5,142、回収率は63.2%でありました。

このアンケート調査に書かれましたご意見とか、そういうものにつきましては、今、各町村でまとめておるところでございます。今後の新市の建設計画などに反映をしていきたいと考えています。

以上でございます。

議長（荻野正直君）

ただいま、事務局から報告があったとおり、6町村の合計で53%が合併に向けて賛成であるとの結果でありました。

この結果については、ますます良い市を目指していかなければならないとの思いを、強くしたところであります。

この結果について、何かご質問等がございますでしょうか。

（なし）

それでは、調査結果を受けまして、私どもは、平成16年10月12日の合併を改めて確認させていただき、前に進めさせていただきます。

次に、報告第3号 その他であります。何かございますでしょうか。

（なし）

ないようですので、次に協議に入りたいと思います。

まず、協議第1号 新市の名称についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

事務局次長（宮島茂君）

それでは、事務局から説明をさせていただきます。

ページが前後しますが、恐れ入ります、資料の6ページをご覧いただきたいと思っております。

まず、今回、名称の選考に関しまして、ご協力いただきました有識者の皆様方を、書面ではございますが紹介いたします。

石和町から小林是綱様、御坂町から弦間耕一様、一宮町から廣瀬直瀬様、八代町から武川仁様、境川村から成島宗治様、春日居町から関正太郎様、以上の6名の皆様にご協力いただきました。

次に、5ページでございますが、選定のフローを示してあります。

本日発表する11作品について、次回、12回目の協議会で決定をしたいと、そういうことでございます。

次に、3ページ、4ページでございます。

去る10月29日に有識者会議をやりまして、その席上、公募による上位5作品、プラス、有識

者が公募の中から推薦したもの、または独自に考案したもの6作品ということで、この11作品が決まりました。

名称、よみがな、主な理由ということで、11点が並んでおります。

公募上位5点でございますが、「笛吹」「甲斐」「ふえふき」「峡東」「甲斐国分寺」が公募上位5点でございました。続きまして、有識者による推薦及び独自考案としまして、「甲斐国府」「甲陽」「桃源」「成蹊」「甲斐路」「東青垣」、以上6点、計11点でございます。

4ページでございますが、募集の状況をここに書いておきました。

応募総数4,442点、無効件数277点を除きまして、有効件数が4,165点。なんと名称の種類におきましては、954作品に並びました。

応募件数の上位20位であります。先ほど言いました、上から「笛吹」「甲斐」「ふえふき」「峡東」「甲斐国分寺」から始まりまして、20位の「甲斐国府」まで、ここにお示ししておきました。

右のほうへいきまして、応募の方法別件数ですが、これを見ますと応募はがきによるものが一番多くなっております。

次に、地区別応募件数ですが、石和町から始まって春日居町まで、まんべんなく応募をしてくれました。それから県内では421、なんと県外からも340点の応募をいただきました。

続きまして、年齢階層別応募件数ですが、10歳未満の165点から始まって、10歳代、20歳代、80歳代まで、まんべんなく応募をいただきました。90歳代の方も17点の応募をいただいたと、そういう状況でございます。

なお、前回の協議会で、石和町の嶋田委員さんから、「笛吹」という名前について、クレームがついたというような意見もあったので、確認をしたほうがよいという発言がございましたので、情報の発信元に確認をいたしました。地域のカルチャースクールのような場で、「笛吹」という名前について、笛を吹けど躍らずとか、または、笛吹権三郎伝説から悲しいイメージというような話はしたけれど、これがいいとか悪いとか、そういうものではないとの確認がなされておりますので、併せてご報告をいたします。

今回につきましては、この11点を初めて委員の皆様方に公表いたしました。

これにつきましては、じっくり考えてきていただきまして、次回の協議会で決定してもらいたいと思います。

今回の協議会で決めていただきたいのは、前回の協議会でお願いをしてありましたけれども、決選投票に挙がる2点の決め方でございます。1人1票で行うのか、2点を選ぶということですから、1人2票で行うのかを今日、この協議会で決めていただきたいと思います。

よろしく申し上げます。

議長（荻野正直君）

事務局の説明が終わりました。

どの名称が新市の名称にふさわしいかは、次回の協議会までにじっくりとお考えをいただきたいと思います。

今回は、ただいま事務局から提案がありましたが、次回に名称を決めるにあたって、2点を決める方法についてご協議をいただきたいと思います。

まず、この件につきましてご意見がございましたら、ちょうだいしたいと思います。

いかがでございますでしょうか。

（ な し ）

皆様のほうからないようでございますから、私のほうから、皆様方の多数決によりまして決めさ

せていただきたいと思います。

1つの方法は、1人が1票でやる方法と、1人が2票をもって投票する方法と、この2つでございますけれども、この2つについて、それぞれのお考えのほうに挙手を願いたいと思います。

それでは、はじめに、1人1票の賛成によって決めていく方法に賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙 手 1 3 名)

ありがとうございました。

それでは、1人が2票をもってやる方法に賛成の方、挙手をお願いいたします。

(挙 手 3 0 名)

今、事務局で集計しておりますから、しばらくお待ちください。

それでは、結果を発表させていただきます。

本日の出席の委員さんは44名でございます。

そのうち、1人1票がいいという方が13名でございます。そして、2票がよろしいという方が30名でございます。1人は棄権でございます。

したがって、名称を2つに絞る方法といたしましては、1人が2票をもちまして決定するというので、本日の協議の結果とさせていただきます。

次回、このような方法で決定させていただきます。

よろしくお願い申し上げます。

続きまして、協議第2号に移りたいと思います。

国民健康保険の取り扱いについてを議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

事務局次長(宮島茂君)

国民健康保険の取り扱いにつきましては、シート 42でございますので、お開きをお願いいたします。

国民健康保険の取り扱いにつきましては、事業の中身であります。保険税の徴収の関係、医療費や出産育児一時金や葬祭費などの給付事業の関係、また人間ドックへの助成や健康相談への保健事業、さらには国民健康保険の運営をスムーズに行うため、内部管理的な基金の持ち寄り額の取り決めなどがあります。

このうち、保険税の徴収の関係以外は、小委員会で決定されており、前回の協議会で報告されておりまして、今回、徴収の関係が決定されましたので、全体を協議していただくものであります。

まず、保険税の関係であります。先ほど、鈴木委員長さんから説明がありましたが、合併時に無理な統一を行いますと、極端に住民負担が増加する町村があり、合併への住民理解の点で問題があることから、不均一課税を適用することです。

なお、その分の予想される不足額については、基金に上積みして持ち寄ることによって同意されておりますことを、併せて報告させていただきます。

次に、給付事業であります。一般の医療費の給付は法律どおりであります。出産育児一時金や葬祭費などにつきまして、出産育児一時金については32万円、葬祭費については5万円と、それぞれサービスの向上を図ったところであります。

また、保健事業につきましては、現行どおり引き継ぎ、新市において調整することといたしております。

また、内部管理的な国民健康保険財政調整基金の持ち寄りにつきましては、県の基金積立の基準

に従いまして、平均保険給付費の10%以上を持ち寄ることといたしました。

以上の内容であります。

それでは、全体の調整方針を朗読させていただきます。

42. 国民健康保険の取り扱い

調整方針（案）

1. 国民健康保険税の賦課方式及び納期については、合併時はそれぞれの町村の例により、合併翌年度から統一する。
2. 国民健康保険税の税率等については、合併時はそれぞれの町村の例により、合併後2年以内を目途に統一を図る。
3. 国民健康保険財政調整基金については、各町村の保険給付費を基準として、適切な額をそれぞれ持ち寄る。
4. 保険給付及び保健事業については、被保険者に対し、サービスの向上となることを基本として調整し、実施する。

以上の調整案でございます。

よろしく申し上げます。

議長（荻野正直君）

事務局の説明が終わりました。

何かご質問・ご意見ございますでしょうか。

（ な し ）

ないようですので、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

それでは、原案のとおり決定いたします。

次に、協議第3号 その他であります。何かございますでしょうか。

（ な し ）

ないようでありますので、以上をもちまして本日の協議事項を終了といたします。

ご協力ありがとうございました。

司会（中川啓次君）

荻野会長には、議長、ご苦労さまでございました。

次に、次第の4番目、次回の協議会日程について、事務局よりご説明申し上げます。

事務局次長（宮島茂君）

それでは、次回の協議会の日程でございます。

次回に名称が決まるという、そういう協議会の日程になります。

恐れ入りますが、12月1日、月曜日になりますが、1時半、スコレーセンターということで調整をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

申し上げます。

司会（中川啓次君）

次に、次第の5番目、その他であります。何かございますか。

事務局はいかがですか。

（ な し ）

事務局のほうはないようであります。

委員の皆様方、その他で何かございませんでしょうか。

(な し)

ないようでございますので、以上で協議会を閉会としたいと思います。

相互に礼をして終わりたいと思いますので、皆様ご起立を願います。

相互に礼。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 1時55分

第11回 石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、春日居町合併協議会 出席者

平成15年11月14日

【石和町】

萩野 正直
芦野 知夫
上野 稔
羽中田 弘己
山下 安・
鈴木 貞夫
嶋田 正雄

【御坂町】

小澤 栄真
矢野 一則
上野 元昭
原田 徹
渡邊 芳直
岡 美枝子
古屋 栄
長尾 壮
小河内 英紀

【一宮町】

小宮山 文明
中川 一彦
萩原 正純
竹下 光広
雨宮 良孝
樋口 龍八
古屋 伸吾
水野 孝子

【八代町】

古屋 貞次
樋口 猛
風間 好美
中村 春樹
相澤 正子
小越 寿々務
松山 政夫

【境川村】

角田 義一
龍澤 敦
相澤 直樹
中村 長年
宮川 一英
宇佐美 常春
小澤 恒夫
岡 梅子
角田 義澄
新田 治江

【春日居町】

金井 豊明
山本 富貴
山崎 光世
生原 英喜
飯田 勝丸
今澤 龍男
中村 喜光
茂手木 貴子
奥原 孝季